

令和5年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	南足柄市社会福祉協議会		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	食料支援プロジェクト～みなみのお福さん～		
事業の目的	社協に寄せられる食料、備蓄食品および日用品の管理を行い、食料を必要とする個人、世帯、団体に届ける仕組みを整える。個人への支援に対しては、食料（経済）の貧困から関係の貧困に陥らないように、関係機関とのつながりも強化する。		
事業概要	食料配布会を年間3回開催し、経済的な事情を抱える住民に必要なに応じた配布をできるよう食料を準備し、お渡ししている。配布会以外でも個別の相談に対応しており、貸付相談世帯等に必要に応じた食料や日用品の提供が行えるように関係機関と連携をしている。住民に広く家庭で不要な食料品や日用品の寄付を呼びかけ、地域住民や商店、団体からの寄付品を受け入れている。配布会に向けてボランティアの協力を得て、寄付を受けた食料品等を整理・管理し、食料を必要とする方の要望にすぐに応えられるよう準備をしている。また、賞味期限が近くなったものを配布会に参加したLINE登録者に周知し、渡している。		
成果や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関との連携をはかりながら、必要とされる世帯へ広げる。 ・協力商店（飲食店など）を増やし、フードロス削減を視野に市内商店との協力体制を作ることで、循環型の地域づくりを提案していくことができる。地域からの協力を募ることで、食料支援プロジェクトの認知度を上げ、地域資源としての浸透を目指していく。 ・配布会の開催地を一か所にせず、車の無い方にもお渡しできるよう他の場所での開催を検討していく。 ・コロナ禍が明け、食料支援物資を仲介していた事業所に、主食が集まらず配布会を実施する際にコーヒーなどの嗜好品が多くなってきている為、食料集めが難しくなっている。 ・配布会当日に来所ではなく、社協が届ける方が多くなっており、今後どこまで対応できるか検討が必要。 ・配布会の際、午前の受取希望が多い為、申込者の減少が見込まれる場合は一日ではなく、午前みの開催を検討したい。 ・外国籍の方への周知方法について、市広報誌のみでは情報を得られない様子がある。 		
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・年間数回の配布会よりも急を要する日常的な配布の支援に重点を置き、配布会の規模縮小を視野に入れる。それに伴い、希望の多い午前中のみで配布会が実施できないか検討する。 ・来所が難しい方への配布、食糧支援事業について情報を得難い方への周知方法について、SNSの活用や他機関と連携を強化し、対応できるようにする。 ・寄付品が減少しているが、地元企業や商店との繋がりができてきている為、継続して支援していただけるようアプローチしていく。 		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			